

平成19年10月9日

報道機関各位

環富士山火山防災連絡会
国土交通省中部地方整備局
富士砂防事務所

お 知 ら せ

1. 件 名

環富士山火山防災シンポジウム 参加申込の受付を開始します

2. 概 要

去る平成19年10月3日、富士宮市役所において第3回実行委員会が開催され、環富士山火山防災シンポジウムの開催内容が決定されました。

シンポジウムは以下の4つのプログラムにより構成されています。

- | | |
|--------------------|------------------|
| ①火山防災に関する国際ワークショップ | (入場無料 先着 200名) |
| ②シンポジウム | (入場無料 先着 1200名) |
| ③意見交換会 | (会費 3千円 先着 90名) |
| ④現地見学会 | (参加費 2千円 先着 90名) |

内容についてはチラシの裏面をご覧ください。

参加申込は次の方法により、10月9日より受付を開始します。

1) ウェブサイトからのお申込

富士砂防事務所ホームページ (<http://www.fujisabo.go.jp>) のトップページにある「シンポジウム参加申込」をクリックし、必要事項をご記入ください。
電子メールにて参加受付証をお送りします。

2) 往復はがきでのお申込

- ①参加者名(全員)、住所(代表者で可)、緊急連絡先(代表者で可)
 - ②参加を希望されるプログラム番号
 - ③ご返信先の宛名、住所
- をご記入の上、418-0004 静岡県富士宮市三園平 1100
国土交通省富士砂防事務所 調査課シンポジウム係宛
にご郵送ください。返信はがきにて参加受付証をお送りします。

3. 添付資料

- ・環富士山火山防災シンポジウム チラシ

4. 記者発表資料配付先

静岡県政記者クラブ、山梨県政記者クラブ、神奈川県政記者クラブ
富士宮市記者クラブ、富士市記者クラブ、富士吉田市政記者クラブ

5. 問い合わせ先

国土交通省中部地方整備局 富士砂防事務所 副所長 谷田 良三
TEL: 0544-27-5221
調査課長 石原 慶一
TEL: 0544-27-5387



宝永噴火から300年
どう備える、富士山噴火

環富士山火山防災シンポジウム

平成19年

11月25日(日)

参加無料

■午前:火山防災に関する国際ワークショップ

会場:富士宮市民文化会館・小ホール 先着:200名様

■午後:シンポジウム

会場:富士宮市民文化会館・大ホール 先着:1,200名様

平成19年

11月26日(月)

■富士山の“いま”を知る、見学会

〈先着:90名様 参加費:¥2,000/バス代・保険代〉

参加申込方法は裏面をご覧ください。

平成19年

11月17日(土)~22日(木)

富士宮市立中央図書館2階にて『富士山を知るパネル展』を開催



Circum-Mt.fuji Symposium on Prevention of Volcanic Disasters

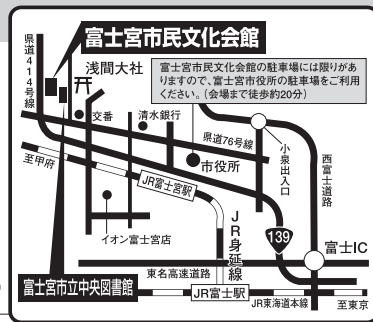
主催/環富士山火山防災連絡会、国土交通省富士砂防事務所

■後援/内閣府政策統括官(防災担当)、静岡県、山梨県、神奈川県、社団法人砂防学会、社団法人全国治水砂防協会、NPO法人日本火山学会、国立大学法人静岡大学、富士常葉大学、社団法人中部建設協会、NHK静岡放送局、静岡新聞社・静岡放送、静岡第一テレビ、株式会社テレビ静岡、あさひテレビ、山梨日日新聞社・山梨放送、富士コミュニティエフエム放送(株)、朝日新聞静岡総局、産経新聞社静岡支局、中日新聞東海本社、中部経済新聞社静岡支局、日本経済新聞社静岡支局、日刊工業新聞社静岡支局、毎日新聞社沼津支局、読売新聞静岡支局、共同通信社静岡支局、時事通信社静岡総局

「環富士山火山防災シンポジウム」

今から300年前の宝永4(1707)年に富士山南東斜面で大噴火が発生しました。それ以降、富士山では噴火は発生していませんが、平成12～13年に頻発した低周波地震をきっかけとして、あらためて富士山が活火山であることが広く認識されるようになりました。現在、富士山麓には、多くの人々の生活や経済活動が営まれ、東西を結ぶ重要な道路や鉄道等もあります。富士山麓に生活する私たちは、将来、富士山が噴火したときに備えて、必要な準備をしておく必要があります。

本シンポジウムでは、宝永噴火から300年を迎える今、噴火前に常日頃から行っておくべき対策、噴火の兆候が認められた時の住民心構えや行政に求められている対応などについて討論を行い、住民と行政が一体となって富士山火山防災の取り組みを進めてゆくことを目的に開催します。



11月25日(日)

1 火山防災に関する国際ワークショップ (会場:小ホール 8:30受付開始 参加費:無料 先着:200名様)

9:00 12:00	国際火山都市会議に参加した世界の火山研究者・火山防災担当者による国際ワークショップ コーディネーター 山梨県環境科学研究所所長 荒牧 重雄
---------------	--

2 シンポジウム (会場:大ホール 12:00受付開始 参加費:無料 先着:1,200名様)

13:00	実行委員長挨拶	富士宮市長 小室 直義
13:05	来賓挨拶	
13:15	太鼓披露	富士宮市 本門寺重須孝行太鼓保存会のみなさま
13:25	基調講演	「1707年富士山宝永噴火について」 内閣府中央防災会議「災害教訓の伝承に関する専門調査会」 座長 伊藤 和明 (NPO法人防災情報機構 会長)
14:10	休憩	
14:20	パネルディスカッション	第1部「私たちの富士山と火山噴火」 コーディネーター NHK解説委員 山崎 登 パネリスト 静岡大学教授 小山 真人 山梨県環境科学研究所客員研究員 池谷 浩 富士宮市自然環境保全審議会委員 難波 清芽 山梨県富士河口湖町長 小佐野 常夫 研究発表 富士宮市立富士宮第三中学校2年生の皆さん 静岡県立御殿場南高校2年生地学選択者の皆さん
15:50	休憩	
16:00	パネルディスカッション	第2部「火山防災～行政そして住民にもとめられるもの」 コーディネーター NHK解説委員 山崎 登 パネリスト 静岡大学教授 小山 真人 山梨県環境科学研究所客員研究員 池谷 浩 富士宮市自然環境保全審議会委員 難波 清芽 山梨県富士河口湖町長 小佐野 常夫 コメンテーター 国土交通省砂防部長 亀江 幸二 研究発表 富士宮市立富士宮第三中学校2年生の皆さん 静岡県立御殿場南高校2年生地学選択者の皆さん
17:00	閉会	

3 意見交換会 (富士宮市民文化会館:小ホール 会費制:¥3,000 先着:90名様)

17:30 (18:30終了予定)	世界の火山学者やシンポジウム出演者を交えての意見交換会を開催
----------------------	--------------------------------

11月26日(月)

※荒天の場合、コースの内容は変更になります。

4 富士山の“いま”を知る、見学会 (参加費:¥2,000/バス代・保険代 先着:90名様)

08:30	JR富士宮駅集合	08:45	JR富士宮駅出発	09:30	大沢扇状地着	10:00	大沢扇状地出発	10:40	水ヶ塚駐車場着	11:15	水ヶ塚駐車場出発	12:00	JR富士宮駅着解散	13:15	新富士駅まで送迎 希望者は
							パネルでの大沢崩れ・火山砂防事業などの説明				◎宝永火口と宝永噴火 ◎富士山南東麓の側火山群について 【静岡大学小山教授解説】				

参加申込方法 ●ウェブサイトもしくは官製往復はがきにて、事前にお申込下さい。(参加費のお支払い方法は、参加受付証にてご確認ください。)

●参加申込の締め切りは、11月7日(水)までとさせていただきます。(当日消印、サイトへの登録完了で有効。)

※当日参加も受け付ける予定ですが、受付にお時間を要します。また、お申込者の多い場合、参加をお断りする場合もございます。できるだけ事前にお申込下さい。

1. ウェブサイトからのお申込

富士砂防事務所HP <http://www.fujisabo.go.jp/> トップページにある、シンポジウム参加申込をクリックし、必要事項をご記入下さい。電子メールで参加受付証をお送りいたします。

2. 往復はがきでのお申込

①参加者名(全員)、住所(代表者で可)、緊急連絡先(代表者で可) ②ご参加を希望されるプログラム番号 ③ご返信先の宛名、住所 を必ず記入の上、〒418-0004 静岡県富士宮市三園平1100 国土交通省富士砂防事務所 調査課シンポジウム係に 郵送願います。返信用はがきにて参加受付証をお送りいたします。